



だいでず通信 第2号 (通算72号)

(令和8年6月発行)

会津若松市・磐梯町・猪苗代町・JA会津よつば(あいづ地区)
福島県農業共済組合会津支所・JA全農福島県本部
福島県会津農林事務所農業振興普及部

国産大豆の需要が高まっています。大豆生産を拡大しましょう！

<東北地方1か月予報<仙台管区気象台 R8.5.28発表>

【気温】東北地方

20	30	50
----	----	----

【降水量】東北地方

30	40	30
----	----	----

【日照時間】東北地方

30	30	40
----	----	----

○期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、晴れの日が多いでしょう。後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
○平均気温は、高い確率50%です。

1 中耕・培土の実施

中耕・培土は、安定多収を実現するために重要な作業です。

基本的に2回、大豆の生育に応じて行いましょう。(①大豆3~4葉期、②大豆5~6葉期)

中耕・培土の効果

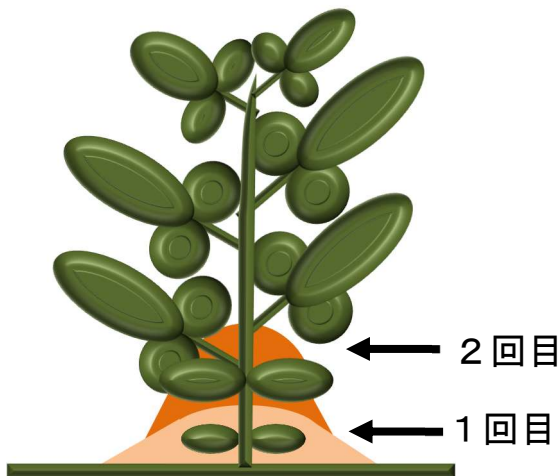
- ① 培土部分からの不定根の発生を促進し、養水分の吸収が向上します。
- ② 不定根に着生する根粒菌の窒素固定が期待できます。
- ③ 株元に土が寄せられ、倒伏防止効果が期待できます。
- ④ 土壌の通気性が改善され、根粒菌や根の発育が良くなります。
- ⑤ 土壌をかくはんし、雑草の発生を抑えます。

作業は梅雨時期にあたります。
タイミングよく行いましょう！



中耕・培土の時期と方法

- ・最後の中耕・培土は開花期の10日前までには終わらせるようにしましょう。
(中耕・培土が遅くなると、根や茎、葉が傷つけられ生育が進まなくなります。)
- ・不定根の発生促進や倒伏を防止するため、くぼみができないよう土を株元にしっかりと寄せましょう。



○1回目(本葉3~4葉期頃)

→子葉節が隠れる高さまで

○2回目(本葉5~6葉期頃)

→初生葉が隠れる高さまで

*開花期の目安

あやこがね：7月6半旬~

！！農作業中の熱中症に注意しましょう！！

これから本格的な夏季を迎えます。作業前・作業中はこまめな水分補給や休憩をとりましょう。
日々の体調管理に一段と気をつけましょう。

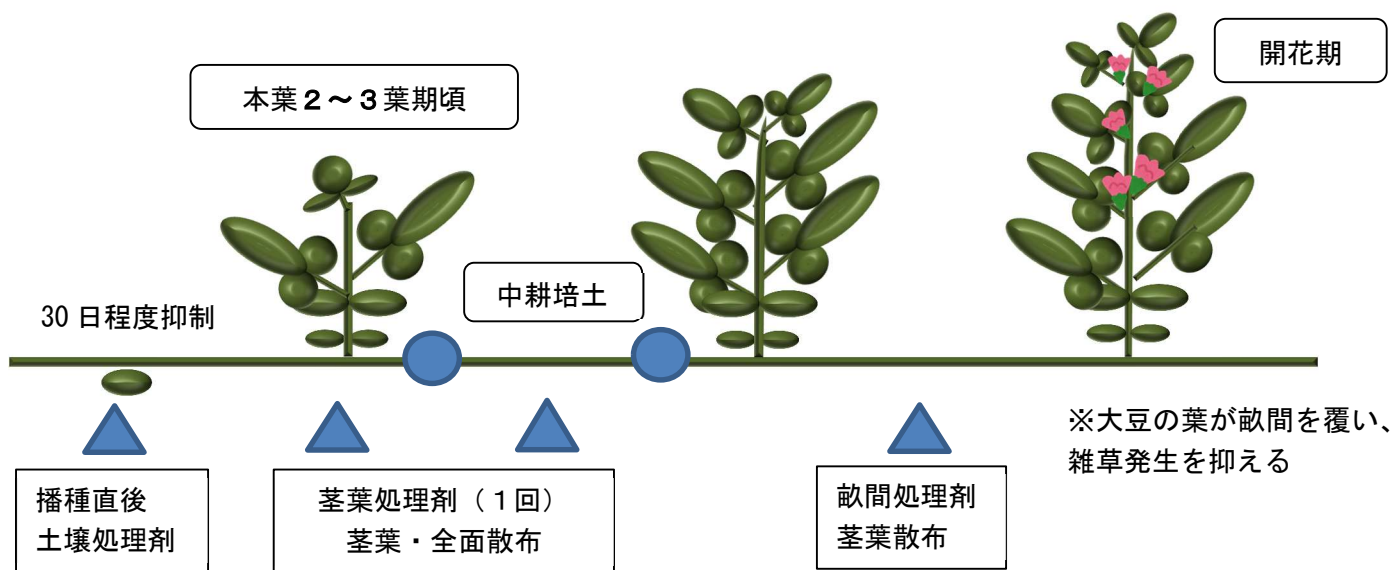
2 雑草対策

土壌処理剤→茎葉処理剤→中耕培土→大豆茎葉による畝間の遮へい により防除します。

- ・ほ場に発生している雑草の種類や除草剤の使用基準（収穫前日数、雑草生育ステージ、大豆生育ステージ等）をよく確認して、適切な茎葉処理剤（全面処理、畦間、株間処理）を適期散布しましょう。
- ・散布時期が遅くなると除草効果が低下してしまいます。茎葉処理剤は大豆2～3葉期頃の処理を目安とし、処理が遅れないよう注意しましょう。

茎葉処理剤の例) 一年生イネ科雑草対象 ※ : ポルトフロアブル、 ナブ乳剤
一年生雑草(イネ科を除く)対象 : 大豆バサグラン液剤 (ナトリウム塩)

※(双メカ死ラを除く)



後発雑草への防除 【大豆バサグラン(ナトリウム塩)の散布ポイント】

・大豆の2葉期～開花期まで使用できる剤ですが、雑草に薬剤を十分に付着させて防除するために**大豆2～3葉期頃(播種後約20～30日程度)**の防除が効果的です。

(遅くとも**大豆6葉期まで(播種後約35～40日後程度)**に終わることが望めます。)

※日数は目安です。実際の様子を確認してください。

- ・散布後、曇天、降雨日が長く続くと効果が劣ることがあるので、留意してください。
- ・散布2～3日で枯れ始め、効果が完了するために数日を要します。

薬剤によって防除の得意な雑草が異なります。ほ場の雑草に合わせて剤を選択しましょう

3 生育中の排水対策

大豆は湿害に弱い作物です。排水対策をしっかりと行いましょう。

- ・降雨の前後に排水溝や明きよを点検し、排水が滞らないようにしましょう。
- ・水が溜まったところは、溝を切り明きよにつなげ、排水を促進しましょう。

湿害により葉の黄化や生育不良が見られた場合

→速やかに硫酸や尿素を追肥すると、生育回復に効果があります。

例; 10aあたり) 硫酸: 5～10kg、または尿素: 2～5kg

